

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 6 年 11 月 18 日(2024.11.18)

【公開番号】特開 2024-69475(P2024-69475A)
【公開日】令和 6 年 5 月 21 日(2024.5.21)
【年通号数】公開公報(特許)2024-092
【出願番号】特願 2024-40066(P2024-40066)
【国際特許分類】

H 0 4 N 19/52(2014.01)

10

H 0 4 N 19/157(2014.01)

H 0 4 N 19/176(2014.01)

H 0 4 N 19/46(2014.01)

【F I】

H 0 4 N 19/52

H 0 4 N 19/157

H 0 4 N 19/176

H 0 4 N 19/46

【手続補正書】

20

【提出日】令和 6 年 11 月 1 日(2024.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エンコーダが実行するビデオ符号化のための方法であって、

ソースビデオシーケンスから現在ピクチャを取得するステップと、

30

前記現在ピクチャに含まれる現在ブロックに対して、参照ピクチャに含まれる参照ブロックを特定するステップであって、前記参照ピクチャは前記現在ピクチャとは異なり、前記現在ブロックは、インターモードで符号化される第 1 の複数のサブブロック(CBSB)に分割され、前記参照ブロックは、第 2 の複数のサブブロック(RBSB)を有し、各 CBSB について、対応する RBSB が、前記現在ブロックに関する動きベクトルによって決定される、ステップと、

各 CBSB について、前記対応する RBSB がインターモードで符号化されているかを決定し、

前記対応する RBSB が前記インターモードで符号化されていないことに応答して、該 CBSB の第 1 の動きベクトル予測値をデフォルト動きベクトル予測値に設定し、前記デフォルト動きベクトル予測値はゼロ動きベクトルであり、

40

前記対応する RBSB が前記インターモードで符号化されていることに応答して、該 CBSB の前記第 1 の動きベクトル予測値として前記対応する RBSB の第 2 の動きベクトル予測値を用いて、該 CBSB の前記第 1 の動きベクトル予測値を設定する、ステップと、

各 CBSB についての前記第 1 の動きベクトル予測値に基づいて、各 CBSB に対してサブブロックベース時間動きベクトル予測を実行するステップと、を含む方法。

【請求項 2】

各 CBSB について、前記対応する RBSB が前記インターモードで符号化されていることに応答して、前記第 1 の動きベクトル予測値は、前記対応する RBSB の前記第 2 の

50

動きベクトル予測値のスケーリングバージョンである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記参照ピクチャは、前記現在ピクチャに関連する参照ピクチャシーケンスからの第 1 参照ピクチャである、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

ビデオ符号化のためのビデオエンコーダであって、

処理回路を有し、

前記処理回路は、

ソースビデオシーケンスから現在ピクチャを取得し、

前記現在ピクチャに含まれる現在ブロックに対して、参照ピクチャに含まれる参照ブ
ックを特定し、前記参照ピクチャは前記現在ピクチャとは異なり、前記現在ブロックは、
インターモードで符号化される第 1 の複数のサブブロック (C B S B) に分割され、前記
参照ブロックは、第 2 の複数のサブブロック (R B S B) を有し、各 C B S B について、
対応する R B S B が、前記現在ブロックに関する動きベクトルによって決定され、

各 C B S B について、前記対応する R B S B がインターモードで符号化されているかを
決定し、

前記対応する R B S B が前記インターモードで符号化されていないことに応答して、
該 C B S B の第 1 の動きベクトル予測値をデフォルト動きベクトル予測値に設定し、前記
デフォルト動きベクトル予測値はゼロ動きベクトルであり、

前記対応する R B S B がインターモードで符号化されていることに応答して、該 C B
S B の前記第 1 の動きベクトル予測値として前記対応する R B S B の第 2 の動きベクトル
予測値を用いて、該 C B S B の前記第 1 の動きベクトル予測値を設定し、

各 C B S B についての前記第 1 の動きベクトル予測値に基づいて、各 C B S B に対して
サブブロックベース時間動きベクトル予測を実行する、

ように構成される、

ビデオエンコーダ。

【請求項 5】

各 C B S B について、前記対応する R B S B が前記インターモードで符号化されている
ことに応答して、前記第 1 の動きベクトル予測値は、前記対応する R B S B の前記第 2 の
動きベクトル予測値のスケーリングバージョンである、請求項 4 に記載のビデオエンコー
ダ。

【請求項 6】

前記参照ピクチャは、前記現在ピクチャに関連する参照ピクチャシーケンスからの第 1 参照ピクチャである、請求項 4 又は 5 に記載のビデオエンコーダ。

【請求項 7】

命令を有するコンピュータプログラムであって、前記命令は、プロセッサによって実行
されるときに、前記プロセッサに、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の方法を実行さ
せる、コンピュータプログラム。